

共通専門基礎科目	からだのしくみと医療					
看護学科	必修	2単位	講義	平成30年度	前期	1年次
臨床検査学科	必修					
科目名	体のしくみと疾病の成り立ちⅠ（病態生理・骨格・神経・感覚） Health & Illness I (Pathophysiology, Skeletal Structure, Nerve, Sensation)					
担当教員	◎稲本俊 神谷宣広 末長敏彦 堀龍介					
目的	細胞・組織・臓器から機能発現の過程を通して人体の構造と機能（解剖と生理）との関係を学び、それがどのような異常をきたして疾病を引き起こすか（病理と疾病の成り立ち）を系統的に学ぶ。					
目標	1)細胞・組織・臓器から機能発現へと至る過程について理解する。 2)骨格支持と運動神経機能に関する解剖生理およびそれらの病理・疾病について理解する。 3)脳神経の解剖生理および脳の高次機能とその障害について理解する。 4)感覚機能に関する解剖生理およびそれらの病理・疾病について理解する。					
他科目との関連	体のしくみと疾病の成り立ちⅡ～Ⅵ、看護専門科目、臨床検査専門科目					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	ナーシンググラフィカ 解剖生理学 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 病態生理学 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 疾病と治療 メディカ出版					
参考資料	体の構造からみた病態生理ビジュアルマップ（シリーズ）医学書院。 からだの知恵 この不思議なはたらき 講談社					
備考 （受講上注意、 事前学習等）						